

大田区立郷土博物館 写真展 **せんべい屋店主、大田を撮る!**

羽田で生まれ育った横山宗一郎氏(1920~1995)は、せんべい屋を営む一方、羽田を中心とした郷土の風景を撮影する写真家としても活躍した人物でした。横山氏は主に戦後の地域の姿を作品として撮り続けてきましたが、撮影してから半世紀以上が経った写真群は当時の景観・習俗、地域の変化・変遷を知る上でも非常に重要な資料となっています。

現在、郷土博物館では、寄贈を受けた写真などを活用するため、写真のデジタル化を進めています。今回の写真展では、平成31(2019)年1月に横山家から寄贈を受けた横山宗一郎氏撮影の写真の中から、デジタル化した画像を中心に紹介します。大田区内、特に羽田の風景や人々が記録された写真を通して、かつての区内の景観や暮らしぶりについて振り返ります。

【展示構成】

- 3階企画展コーナー 「せんべい屋店主、大田を撮る!」
第1部 区内編、第2部 羽田編
- 3階特集展示コーナー「横山家と羽田の近現代」
- 2階友の会コーナー 「横山宗一郎が愛した東京の郷土玩具」

【関連事業】

- ギャラリー・トーク 「写真が語る大田の人と街」
日時：令和3年11月27日(土) 午後2時~午後4時
会場：郷土博物館2階会議室 定員：30名(先着順)
講師：担当学芸員 申込：11月11日(木)から電話受付開始
- 出張展示 「せんべい屋店主、羽田を撮る!」
会期：令和4年2月1日(火)~2月28日(月)
会場：羽田特別出張所(大田区羽田一丁目18番13号)

※上記の展示や事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止・変更する場合があります。

※下記の写真は、横山宗一郎氏が撮影



貴船堀での網はたき 昭和32年3月4日撮影



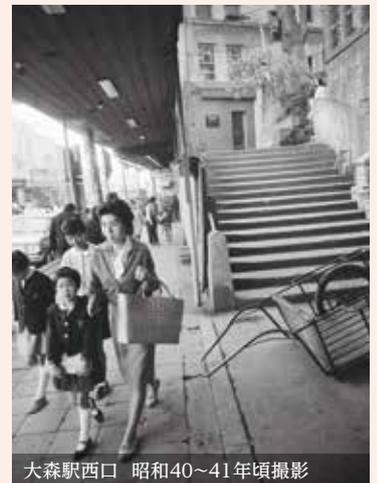
蒲田駅西口 昭和41年12月撮影



西嶺町の護摩堂橋の洗い場 昭和40~41年頃撮影



羽田の海老取川 昭和37年8月1日頃撮影



大森駅西口 昭和40~41年頃撮影

横山宗一郎氏のプロフィール



横山宗一郎氏の肖像 昭和40年代前半撮影

略 歴

- 大正9(1920)年3月18日…蒲田区羽田穴守町に生まれる。本名は横山宗太郎。
- 昭和18(1943)年10月1日…法政大学文学部の繰り上げ卒業と同時に特別操縦見習士官一期生として宇都宮陸軍飛行学校に入校。
- 昭和20(1945)年9月21日…進駐軍の48時間強制立ち退き命令を受け、同年9月21日と22日で羽田の現在地に移住。横山煎餅本舗四代目店主となる。
- 昭和39(1964)年4月…横山氏が初代会長であった写真家集団「蒲田無名会」が主催し、蒲田駅ビルで「大田区今昔写真展」を開く。この好評が写真集「歴史と風景-大田区カメラ散歩-」(昭和42年)を作成する契機となる。
- 昭和45(1970)年10月…日本万国博フォトコンテストの大賞を受賞する(副賞は13日間の欧州旅行)。
- 平成7(1995)年5月19日…死去。享年75歳。
- その他、関東二科展の会員でもあり、同団体写真部関東地区の審査員も務めた。

写 真 集

『木曾路をゆく』(共著/昭和43年)、『東京の郷土玩具』(昭和47年)、『羽田空港 戦後二十七年の記録』(昭和47年)、『仏教二千四百年 釈迦生誕の地から奈良までの道』(昭和59年)、『古代エジプト憧憬』(昭和63年)、『ペルー讀 横山宗一郎フォースケッチ』(平成3年)、『イタリアの風』(平成4年)、『空港のとなり町 羽田』(共著/平成7年)